



看護局より

2010/10 NO.43



看護局長 柳谷 良子

～暑い夏が過ぎ、さわやかな秋が通り過ぎ、冬が到来？～
日本は四季があり美しいと言われています。暑かった夏が過ぎホッとした途端、緑色の葉も赤や黄色に色づき秋が来ています。皆さんいかがお過ごしですか？



先日は、グループの大運動会。選手達の懸命さと応援団のカッコよさと職員の励ましの声。私は感動しました。中村秀夫会長が運動会やバレーボール大会の目的は、「一番を獲得するためにはチームワークがなければ成し得ない。医療とはチームワークが必要。故にチームワークが発展の鍵」と、おっしゃっていた通り、素晴らしかったです。看護局は玉入れに参加しました。第3位。練習する時間が無かった割には良い成績でした。

また今月10日の全日病学会に看護局から3演題発表しました。貝瀬部長は研修関係、小林科長は新卒看護職員へのアンケート結果、私は看護部長の業務分掌関係。それぞれ発表間近の完成でしたが、看護局の成果として大切に、継続も視野に入れ前進します。

さらに、30日には熊本県での「国家試験対策講座」を行い、80名余の参加者の来場が予定されています。これらの学生がグループ内に就職してくれますようお願いしつつ対応していきます。

いよいよ、寒さも一段と厳しくなってきます。インフルエンザの予防接種も予定されているようです。必ずお受けになって体調管理に役立ててください。皆さんの益々の発展を願いつつ10月号をお届けします。



老健担当参与 真中 幸子

～各地で紅葉便りが聞かれ過ぎやすい候となりましたが北国では雪景色のニュースで秋の深まりを感じます～



昨年の今頃インフルエンザ対策で大変でしたが、今年は大過なくほっとしています。近況報告として介護老人保健施設・HC流山が11月に第三者評価受審、対策チームで取り組んでいます。HC横浜小雀は11月に受審に向けてキックオフ！

未受審施設も取り組みをお勧めします。受審のメリットとして、

- 自らが提供するサービスの質について改善すべき点が明らかになります
- 改善すべき点が明らかになる為、サービスの質に向けた取り組みの具体的な目標設定が可能となります
- 評価を受ける過程において、職員の自覚と改善意欲の醸成、および諸課題の共有化が促進されます
- 対外的な効果として第三者評価を受けることによって、利用者等からの信頼が得られ、評価向上につながります。

「11月11日は介護の日」いい日、いい日、毎日あったか介護ありがとう！

厚生労働省は「介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支えあいや交流を促進する観点から、高齢者や障害者に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日」として平成20年に発表したそうです。各施設においても「介護の日」にちなんだ企画がなされており、関心も高まっています。

グループとしても11月14日上尾市文化センターにおいて『第3回AMG老健学会』が“人生の時を彩る、わたしたちの介護”～ほほえみを実らせよう、介護の樹～をテーマとして開催されます。

これからは朝晩の冷え込みが厳しくなっまいります、健康に留意してください。

《 10月昇格者のご紹介 》

白岡中央総合病院
副看護部長 中本 順子

“仕事が楽しい”と思えるような職場作りに頑張りたいと思います。

白岡中央総合病院

立石 麻奈美(看護師・2A病棟)

出身校:上尾中央看護専門学校(埼玉県)

入職してから半年が経ちました。振り返ってみると失敗をしたり、時には落ち込むこともありました。しかし落ち込むことよりも何故失敗してしまったのか、同じ失敗を繰り返さないためにどうすればよいのかを考える事のほうが大切だという事に気づきました。プリセプターをはじめ病棟の先輩方から熱心にご指導いただき感謝とともによりよい看護が提供できるように日々成長していきたいと思えます。



▲立石さん

桜ヶ丘中央病院

笠井 由佳(看護師・2病棟一般急性期病棟)

出身校:上尾中央看護専門学校(埼玉県)

6ヶ月を振り返るとあっという間に過ぎてしまったんだなあ改めて思いました。この6ヶ月で楽しいことやつらいことがたくさんありました。…つらいことの方が多かったかもしれません。しかし、今も続けていられるのは、周りの人に支えて頂いたり、丁寧に教えて頂き、患者様とのお話をしたり「ありがとう」と言われたり…。勉強することもたくさんありますが、勉強として、実際に患者様の状態と知識がつながると、とても面白く感じますし、勉強してよかった、もっと頑張ろうという気持ちにもなります。

本当に毎日気がついたり、反省もたくさんです。失敗もたくさんして、とんでもないことをしてしまったりと悩む日もあります。でも、次はしない。次はもっと良い影響を与えなくては…日々奮闘中です。6ヶ月経ったけど、今頃同期はどうしているのだろうかなど思いながら、日々過ごしています。



▲久保井さん・笠井さん・佐藤さん

笠幡病院

早川 沙矢(看護師・3病棟)

出身校:上尾中央看護専門学校(埼玉県)

入職し半年が過ぎた今、ようやく落ち着いて患者様と関わる事ができるようになってきましたが、まだまだ勉強不足であると感じています。先輩スタッフの方々には丁寧に指導して下さい、救われた気持ちになる反面、もっと知識を積み、迷惑がかからないようにしなければ、と気持ちも引き締まります。命に対するの責任感と、様々な状況に対しての応用力をつけるため、一日でも早く一人前に近づけるように日々努力していきたいです。



▲早川さん



斉藤 沙綾(認知症専門棟)

出身校:中央介護福祉専門学校(千葉県)

私は認知症専門棟で、グループケアを行っています。一人一人の利用者様と深く関わることができ、少しずつ個別ケアの楽しさや、やりがいを学んでいます。常に笑顔を忘れず、寄り添った介護ができるように、これからもがんばっていきたいと思います。



▲斉藤さん(後列左端)



下長根 彰子(介護福祉士・一般棟) *写真中央

出身校:岩手女子高等学校福祉教養科(岩手県)

新しい環境で、最初はとても不安だったけれど同じ学校からきた友達と励ましあいながら元気に頑張っています。



森本 美優(介護福祉士・認知専門棟) *写真右

出身校:岩手女子高等学校福祉教養科(岩手県)

4月から介護福祉士として働き始めました。生活環境も変わり不安もありましたが、職員の方々に一から教えてもらい、六ヶ月を過ぎた今、とても楽しく毎日が充実しています。これからも初心を忘れず頑張ります。

市川 恵美(介護福祉士・一般棟) *写真左

出身校:光星学院高等学校専攻科介護福祉科(青森県)

入職して半年が過ぎ、ようやく業務にも慣れ、楽しく仕事をしています。利用者様も先輩スタッフも明るく元気でパワーある人たちがばかりです。施設内での勉強会もたくさんあり、業務だけではなく、勉強会を通して知識や技術を学ばせていただいております。まだまだ分からないことばかりですが、先輩スタッフに助言・指導をいただきながら頑張っていきたいと思います。



『看護主任初任者研修(10/21)』 参加者:14名

今回は少人数の研修となりました。そのためか、グループワークで一人ひとりが発言する時間がとれて、有意義な研修になりました。主任としての各自の課題を宣言し、研修を修了したので、現場で活躍されることを願います。

『看護部署チーフ研修(10/28)』 参加者:49名

今回も主任、係長、科長と役職者が集まりました。午前は法令遵守の理解、AMGの組織についてなど講義があり、午後は事例をもとにグループワークを行いました。「同じような悩みをもっていることがわかり、気持ちが楽になった」という声が多く聞かれました。



『危険回避(10/4)』 参加者:64名

グループワークの時間が多く取られていた内容で、受講生からも「自分では気付かなかったことが見えて良かった」「いろんな意見が聴けて良かった」という声がたくさんありました。KYTは研修後、日々のトレーニングが大切ですので、今回の学びが活かされていることを願います。

『介護福祉士マネジメント研修(10/7)』 参加者:67名

今回は21年度研修修了者の成果発表会と、映画鑑賞会でした。21年度受講生の発表は聴いていて頼もしく感じました。AMGの介護の質は向上している！と実感もできました。また映画「ただいま それぞれの居場所」からは、介護って何か？自分たちは介護しているか？と、考えさせられました。とても素晴らしい映画でした。

『高齢者虐待防止(10/14)』 参加者:53名

高齢者虐待防止法の解説から始まり、午後は事例を基にグループワークを行いました。みなさん日頃自分が行っている介護が「もしかして、虐待？」とハッとする場面があったようでした。虐待なんて絶対はない！と決めつけず、自分のかかわりを振り返ることが必要なんだと感じさせてくれた研修でした。

『新人担当者研修(10/18)』 参加者:43名

今回は3回シリーズの最後で、課題の発表がありました。「答えは相手の中にある」「目標が人を育てる」「新人が育つ環境はプリセプター一人で作るものではなく、フロア全体で育てる環境作りが大切」など沢山の学びがありました。今回修了証が渡されました43名の方々、新人教育をよろしくお願いします。

『介護福祉士国家試験対策(10/28)』 参加者:80名

毎年大人気の本研修は、今年も大勢の意欲的な受講生で会場がいっぱいでした。本番までの学習方法やポイントを聴きながら、みなさん一生懸命な様子がかうかがえました。あと3カ月！職場の協力も必要だと思います。みんなで全員合格目指しましょう！



キャリアサポートセンターより

《介護福祉士実習指導者講習会》

～担当より～たくさんのご応募ありがとうございました！

受講申込み期間が終了し、多数の申込みをいただきました。当初は定員40名での開講予定でしたが、この度厚労省から許可をいただき、48名で開講いたします。平成23年2月12日(土)～3月1日(火)のうち4日間、充実した研修になるよう頭を捻っているところです。

《認定看護管理者研修ファーストレベル教育課程》

～担当より～いよいよ大詰めです！

早いもので研修も残すところ後1ヶ月となりました。この夏に行われたフォローアップ研修の内容を踏まえ、受講生は現在それぞれの職場でレポート作成に取り組んでいる最中かと思います。キャリアサポートセンターでは、研修担当がレポート相談やグループ検討会などを通じ、日々支援を進めています。眉間にしわを寄せつつ、文献や情報収集に頭を抱えている先輩や同僚・後輩が身近にいらっしゃいませんか？どうぞご協力をお願いいたします。

《看護学生実習指導者講習会》

～担当より～臨地実習スタート！

“大勢の学生・教員・看護師の中で心細さを感じました。”
“学生指導における教員と指導者の役割を見学できました。”
“久しぶりの学生体験！”
“看護師と相談し、学生同士でケアを実施している姿に驚きました！”

実習開始前には、それぞれの体験が思い起こされたためか、受講生は緊張と不安の面持ちでした。実習指導の実際を見、そのあり方を考えるという目的の臨地実習の後には、通常の研修スタイルに戻って“まとめ評価”を行います。たくさんの学びを持ち帰ってきてくれることを期待しています。

左から：阿部清子さん(立川相互病院)・堀江美咲さん(吉川中央総合病院)・黒瀬恵子さん(金沢文庫病院)・門崎唯さん(横浜相原病院)



《キャリアサポートセンター連絡先》

センター長 井上由紀子
〒362-0075埼玉県上尾市柏座1-12-20天沼ビル1階
相談窓口:048-775-2607

第46回AMG大運動会

～情熱！躍動！そして感動！～

さわやかな秋晴れのもと、第46回AMG大運動会が行われました。
どの病院・施設も競技や応援に一丸となり、より一層団結力が深まりました。



▲玉入れ



▲応援風景

10月10日～11日、神戸で行われた第52回全日本病院学会でAMGから17演題の発表がありました。看護局からも柳谷局長をはじめ3演題発表させていただきました。本学会は看護以外の多職種も発表するため、学会を通して様々な交流があり、有意義な2日間でした。



▲柳谷局長発表テーマ
看護部長の業務把握の試み ～業務基準チェックシートを用いて～



▲学会参加者は40名以上でした

研修のご案内

【研修申し込み期間:11月1日(月)～8日(月)】

研修申込は看護局ホームページからできますが、従来通り、Eメール・FAXでも受け付けております。

【看護職研修】

《重症患者の呼吸・循環管理》

日 時:12月2日(木)13:00～16:30(12:30受付)
場 所:看護研修センター

【介護福祉士研修】

《主任初任者研修会》

日 時:12月6日(月)9:30～16:30(9:00受付)
場 所:看護研修センター

～お知らせ～

■11月は看護研究・介護研究の発表会が行われます。

興味のある方は是非参加してください。

【看護研究発表会】11月16日(火)9:30～16:30:AMGビル3階

【介護研究発表会】11月9日(火)9:30～16:30:看護研修センター

《第3回AMG老健学会開催》

【テーマ】人生の時に彩る、わたしたちの介護

～ほほえみを実らせよう、介護の樹～

【特別講演】「介護期・終末期リハビリテーション～最後まで人間らしく～」

<講師>大田仁史先生 茨城県立医療大学名誉教授、茨城県立健康プラザ管理者

日 時:平成22年11月14日(日)12:00～16:20(受付11:00～)

会 場:上尾市文化センター

主 催:上尾中央医科グループ 介護老人保健施設 埼玉ブロック

発信元

上尾中央医科グループ
協議会看護局

看護局長 柳谷 良子
担当 鈴木 美穂

miho.suzuki@achs.jp